

「中頭方西海道及び普天満参詣道」が

国指定文化財に

首里城から本市を通り国頭へ向かう歴史の道「中頭方西海道」の一部である安波茶橋と周辺の石畳道、そして「普天満参詣道」の一部である当山の石畳が、国の文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、国指定文化財になりました。今回は、その「中頭方西海道及び普天満参詣道」をご紹介します。



中頭方西海道の安波茶橋



普天満参詣道の当山の石畳

中頭方西海道

「中頭方西海道」は、首里城を起点に浦添を経て沖縄本島西側を北上し、国頭につながる宿道（琉球国時代の幹線道）です。中頭方西海道のうち首里と浦添を結ぶ道は、尚寧王の命により石畳道に改修されたことが1597年建立の「浦添城の前の碑」に記されており、ルート上にある安波茶橋もこのときに木橋から石橋へ架け替えられたと考えられています。

普天満参詣道

「普天満参詣道」は「中頭方西海道」から枝分かれし、宜野湾へ向かう道です。1644年に国王の普天満参詣が始

められたことから、この頃には既にこの道は存在し、1671年の宜野湾間切の創設以降は宿道としても使用されたと考えられます。現在でも当山の石畳道に往時を偲ぶことができます。

国指定文化財に

「中頭方西海道及び普天満参詣道」のうち、浦添市に所在する安波茶橋とその周辺の石畳道や当山の石畳道は、近世琉球の交通史・土木史等を知る上で数少ない大変貴重な遺構であることから、このたび国指定の文化財として将来にわたり保存し、活用を図ることにしました。

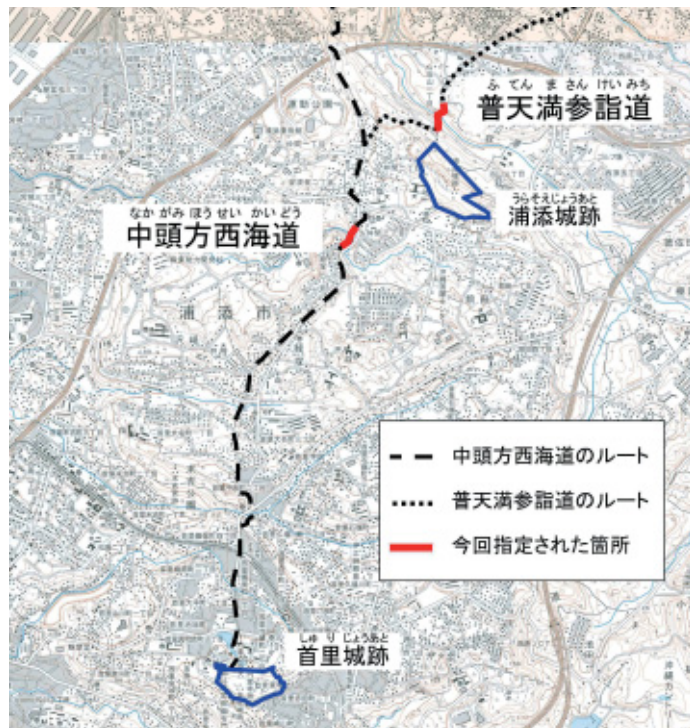
将来の保護

今後は、中頭方西海道及び普天満参詣道やその沿道に残されている文化財、歴史的環境を市民の皆さまや県内外の方が文化財に親しみながら体験学習できるように環境整備などを計画して実施していきます。

問い合わせ
文化課
876-11234
(内線6214)



▲6月15日に行われた記者会見



「中頭方西海道及び普天満参詣道」国指定記念!

歴史の道さんぽ

「中頭方西海道及び普天満参詣道」の国指定を記念して、歴史の道を歩く散策会を行います。今回指定された歴史の道や周辺の文化財について、うらおそい歴史ガイドがわかりやすく説明します。

8月12日(日) 少雨決行

受付開始 午前8時30分
開始式 午前9時
出発 午前9時15分(午後1時終了予定)



集合場所: 浦添グスク・ようどれ館 (浦添市仲間二丁目53-1)
※駐車場スペースに限りがあるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。
コース: 浦添グスク・ようどれ館→浦添城跡→浦添城の前の碑→経塚の碑→中頭方西海道(安波茶橋と石畳道)→普天満参詣道(当山の石畳道)→浦添貝塚・伊祖の高御墓→浦添グスク・ようどれ館(約5.8km)
募集人員: 150人(小学3年生以上。小学生は大人の同伴者が必要です。定員に達し次第締め切ります。)
参加料: 一人50円(保険料として。イベント当日にお支払いください。)
申込期間: 7月1日(日)から7月31日(火)まで
申込方法: 電話にて下記へお申込みください。保険加入の際に必要なため、お申込みの際に氏名、住所、性別、年齢、電話番号をお伝えください。
服装・持ち物: 運動しやすい服装で参加、タオルをご持参ください。また、帽子など暑さ対策をお願いします。
主催: 浦添市教育委員会
【申込み・問い合わせ】
浦添グスク・ようどれ館
☎ 874-9345 (午前9時~午後5時 月曜定休)